

玄米昇降機	B F K 45	一式	二五〇、〇〇〇円
電気装置及びローコンベアー		一式	一、〇八四、〇〇〇円
運送工事費		一式	二、八六九、〇〇〇円
フオークリフト	T H G 30	一台	五、四五九、〇〇〇円
購入価額	工事費	一六、七三八、〇〇〇円	
	補助金	八、三六九、〇〇〇円	
籾摺機	金子K H A 一〇〇型オートスケール50セット	一式	一、二、二三七、〇〇〇円

7 精米機の設置

平成六年には米の輸入化にともなう政府の新食糧法の施行により米の自由販売、国際競争が始まる。この変化に米を生産する農家も販売業者も戸惑っているのが現状である。当組合も組合員の耕作した米だけは何としてでも販売したいと検討している中で、消費者に好まれる良質米の栽培対策は無論のこと、さしあたり今摺り米の供給と消費層の開拓を図りたいと考え、つぎに示す精米機を購入して、来るべき米の自由販売に備え精米を試みている。

精米機 P M 二二〇 S 計量器 S U 二二〇 セット一式
一、九九〇、〇〇〇円

二 素住台の移転事業（昭和四十五年～四十九年）

茨城県の最南端にあり、首都圏内に位置する守谷町も都市化の波が押し寄せ、ベッドタウンとして日本住宅公団が住宅造成計画を進めることとなり、大井沢地区に入植した組合の素住台地区組合員二十一戸の生活営農の基盤全域と大原地区組合員の一部を含んだ農地を住宅造成用地として提供する協議が昭和四十五年によく合意し、守谷町都市開発同意書に調印して成立するにいったった。

そして組合は、素住台組合員の移転計画を推進するため移転用地の確保に乗り出した。しかし、この開発問題が潜行す

る頃から移転は避けられないことを覚悟していたので、土地の値上がり配慮し、昭和四十四年から用地買収をすでに始めていた。その年の後半には農林中央金庫及び常陽銀行から土地取得資金二億円の融資を受け、山林農地を問わず地元地主並びに関係者の協力のもとに用地の事前買収を行った。移転用地はあくまでも一集団地移転を目標に用地の確保を心掛けたけれども、残念ながら最終移転先は次に示す地域に分散する結果となった。

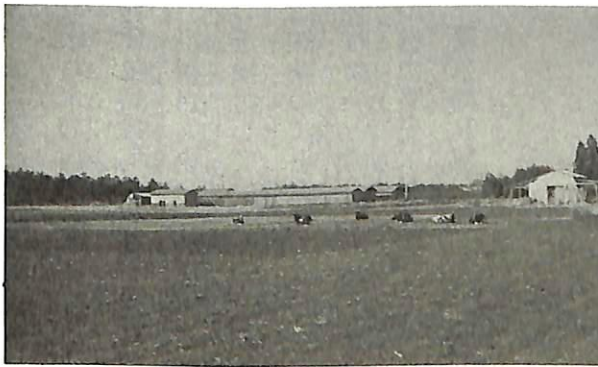
水海道市菅生町大並地区 八戸 守谷町板戸井地区 三戸

同 古谷地区 八戸 同 北園 地区 一戸
 同 中郷地区 一戸 計 二十一戸

しかしながら、移転事業の施工に関しては組合事業として土地の明け渡しのための建造および構築物をはじめ並木その他一切の撤去、用地の買収はもちろん移転用地の造成工事、土地改良法に基づく用地の配分作業、住宅・畜舎施設一切の建築、これらの工事作業の全般にわたって他地区の組合員の動員を求め、大八洲開拓組織の総力をもって事業を推進してきた。

この移転事業については、組合員も組合も未知と不安の憂慮から決定するまでには協議と検討をたび重ねても容易に踏み切れなかったが、いざ事業に着手しても種々難しいことも数々あったけれども事故もなく切り抜け、昭和四十七年末には全員が住居を移し終え、翌年には一部の残工事を仕上げるほか、残務整理に当たり、年末までに精算も全部終えたので、四十九年三月に移転先の大並地区に新築した素住台公民館において、事業に協力下された関係者とともに竣工式並びに祝賀会を催して一同喜びと安堵の胸をなでおろした。

移転用地の先行取得に着手してから数年近くかかった移転も、従来より床面積を拡張した住宅、および豚、乳牛の拡張と改良した畜舎などの新築、並びに農地の規模拡大など生活営農の基盤強化を達成して有終の美を納めたといっても過言



中通り農場内一種豚センター
 荒木一牛舎



移転前の素住台

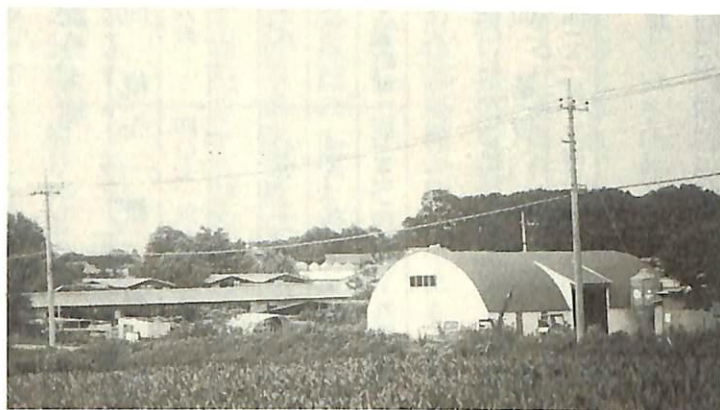
南側農耕地
 杉原一豚舎



移転後の素住台

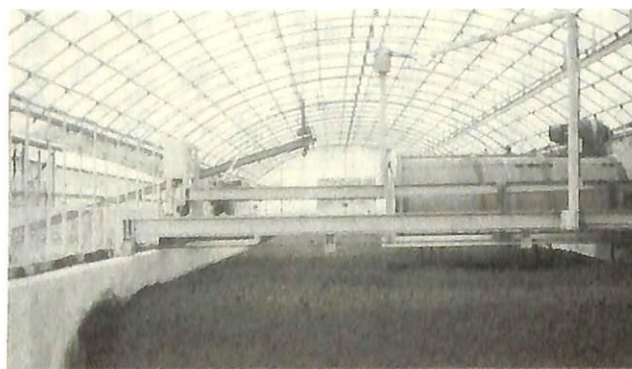
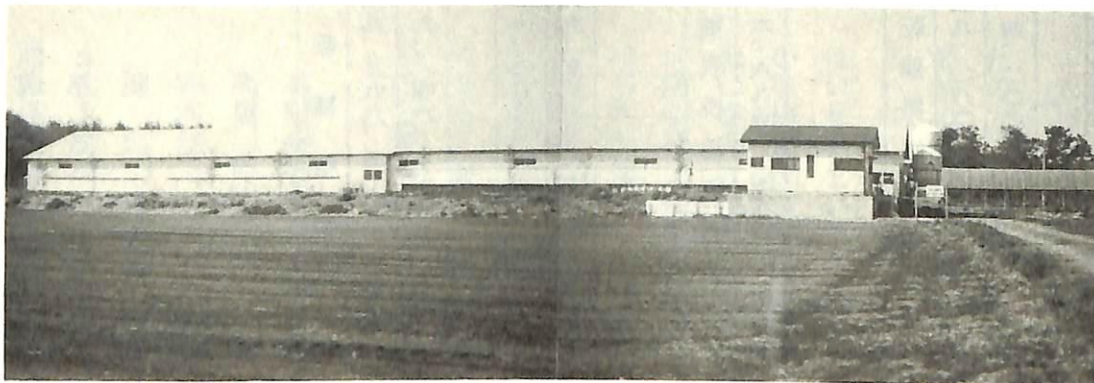


▲ 乳牛舎
遠藤正敏牧場（大並）



▶ 養豚舎と肥育牛舎（大並）

◀ 無菌養豚舎
高橋芳樹農場



高橋農場の発酵堆肥センター



高橋農場側面

でない事業の結果をもたらすに至ったことは、とりもなおさず入植以来のあらゆる困難な事態にも根気強く希望をもって
前進し、解決してきた組織と組合員の協同団結の証しである
と考えている。

移転事業の概要

日本住宅公団買収及び換地配分土地

区	別売	渡面積	積売	渡価額	移転	補償料	換地	面積	減少率
素住台二十一戸		一六八、八六一	四〇七、九九四、三三三		一六九、三九九、三七三		一〇〇、七二六		〇・三二以上〇・四六〇以下
同 共有					九、一四六、六〇五				
大原 五戸		二八、一八一	七五、一〇一、五八〇				一八、九二七		同
組 合		一六、二二二	三八、九三一、〇三〇		二一、〇三五、四〇〇		一一、七七九		同
計		二二三、二五四㎡	五二二、〇二六、九四三円		一九九、五八一、三七八円		一三一、四二二㎡		

土地（買換資産）の買収

区	別買	収面積	買収	価額	土地改良	造成費	諸経費	合計
一 括		三八四、四二二㎡	三四五、五八〇、六六〇円		一六、六九三、七四六円		六、四三六、九二六円	三六八、七一一、三三二円

土地の配分及び建築物の売渡

区	別配	分面積	売渡	価額	移転建築	工事費	諸経費	合計
素住台二十一戸		三五三、四〇一	三二九、二一〇、三五三		二二八、〇八二、五六五		二二、七七〇、五五七	五八〇、〇六三、四七五
同 共有		一、七二六	二、三八二、〇〇〇		四、二〇〇、〇〇〇		四二〇、〇〇〇	七、〇〇二、〇〇〇
大原 四戸		一六、三三〇	一九、五一〇、〇〇〇				一、九五一、〇〇〇	二一、四六一、〇〇〇
組 合		一二、九六五	一七、六〇八、九七九		一一、七一六、四〇二		二、三四三、二八四	三一、六六八、六六五
計		三八四、四二二㎡	三六八、七一一、三三二円		二四三、九九八、九六七円		二七、四八四、八四一円	六四〇、一九五、一四〇円